

守山区周辺のマメナシ自生地分布

石原 則義

愛知守山自然の会 〒464-0096 愛知県名古屋市千種区下方町七丁目3番地

Study of native localities of *Pyrus calleryana* around Moriyama, Nagoya, Aichi, Japan

Noriyoshi ISHIHARA

7-3 Shimokatacho, Chikusaku, Nagoya, Aichi, 464-0096, Japan

Correspondence:

Noriyoshi ISHIHARA E-mail:noriyoshibob@yahoo.co.jp

はじめに

マメナシ *Pyrus calleryana* Dence. は、湧水のあるため池などの周辺に生育するバラ科ナシ属の落葉小高木である。花柱は2~3個、果実はほぼ球形で直径約1cmの実をつける。本種は、日本、朝鮮半島中部、中国大陸、ベトナム北部に分布し、国内では愛知県・岐阜県・三重県に分布する。分布の中心は名古屋市内やその周辺の丘陵地である（芹沢, 2003; 岐阜県, マメナシ, <http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kankyo/shizenhogo/c11265/reddatebookshokubutul-1.data/1070.pdf>. 2015年10月30日確認）。

また、東海丘陵要素と呼ばれる周伊勢湾地域の低湿地を中心に生育する植物のひとつに定義され（植田, 1989）、愛知県版レッドリストでは絶滅危惧IA類、名古屋市版レッドリストでは絶滅危惧IB類に位置付けられている（愛知県, 第三次レッドリスト「レッドリストあいち2015」, http://www.pref.aichi.jp/kankyo/sizen-ka/shizen/yasei/redlist/redlist_2015.pdf. 2015年10月30日確認; 名古屋市, 2015）。

本稿では、名古屋市守山区周辺に自生するマメナシのうち、小幡緑地本園を除く地域で調査した結果を報告するものである。また、一部の木については柱頭と果実の数も記録したので併せて報告する。

なお、2011年から2014年にかけて筆者が所属する「愛知守山自然の会」（以下、当会とする）が守山区周辺を含め調査しているが（愛知守山自然の会, 未発表）、滝の水

池池畔は未計測であった。そこで、本調査では再度、筆者が調査を行った。

調査方法

本調査では、名古屋市守山区周辺をエリアⅠからエリアⅥの6エリア（図1）に分けた。

エリアⅠは下志段味長廻間の風越池・尾張旭市の平子町東の平子上池・滝の水池、エリアⅡは吉根・平池東、エリアⅢは大森北の東尾張病院・同志段味住宅・同宗教法人施設前・同シデコブシ湿地・同県有林・尾張旭市霞ヶ丘町北林ノ池、エリアⅣは御膳洞蛭池・大森八龍の新池・守山環境事業所前・樋口宅、エリアⅤは牛牧の小幡緑地西園、エリアⅥは大牧町の水道みち緑道・同大牧緑地西である。なお、小幡緑地本園に生育する個体については、石原（2014）を参考にされたい。

この調査地域において、2015年2月から9月まで調査を行った。このうち、3月から7月はマメナシの個体数、幹周、樹高、環境の実態把握、4月は花柱の数を記録、8月から9月は果実の種子数を記録した。

生育数の記録に際しては、個体数を正確に把握するため、樹高1m以上の個体に名札を付け、株立ちで生育する個体については、太いものから順に5本まで記録し、これより細いものは記録しなかった。

花柱数の記録では、調査時に花つきの良い株を各エリアから選定した。この株から無作為に花を50個採集し、花柱数を記録した。

種子数の記録では、花柱数の調査と同じ株から無作為に果実を50個採集し、種子数を記録した。

なお、御膳洞蛭池は植栽木があり、小木で生え方が整然としたものなど如何にも植栽らしいものを当会は暫定基準として、樹高6m未満・幹周30cm未満のものは植栽とみなし省いた。

また、小幡緑地西園近くの城土町の民地に樹齢50～60年のマメナシが1株あったが、2014年2月に『家をたてるのに邪魔になるから何とかしてくれ』と当会に連絡が入ったため、当会で相談し、小幡緑地管理事務所の了解をとり、2014年4月3日小幡緑地本園のウンヌケ湿地（ウンヌケがあるので当会で命名した）に移植しており、この樹木は、移植木として扱い今回の調査からは除外した。

結果

本調査において、135株・232本のマメナシを確認した。このうち、守山区内では、111株・183本、守山区周辺で24株・49本を確認した（表1）。小幡緑地本園における調査（石原，2014）で確認した個体数を合わせると151株・224本となり、東海3県の自生地に生育するマメナシが、

筆者らの調査では約350株（愛知守山自然の会，未発表）であることから、守山区だけで3分の1強を有することになり、守山区周辺を合わせると、2分の1を有することになる。

エリアⅠは合計27株・46本であった（図2）。長廻間の風越池は9株・12本、尾張旭市平子町東平子上池に1株・1本、同滝の水池17株33本である。

エリアⅡは合計3株・6本であった（図3）。吉根2株・3本、平池東は1株3本である。

エリアⅢは合計17株・33本であった（図4）。大森北東尾張病院は4株・8本、同志段味住宅1株・1本、同宗教法人施設前1株・1本、同シデコブ湿地1株・2本、同県有林4株・6本、尾張旭市霞ヶ丘町北小幡緑地東園林ノ池6株・15本である。

エリアⅣは84株・140本であった（図5，6）。御膳洞蛭池58株・104本、大森八龍新池は22株・32本、同守山環境事業所前2株・2本、同樋口宅1株・2本である。

エリアⅤは2株・2本であった（図7）。牛牧小幡緑地西園樹林地1株・1本、駐車場南1株・1本である。

エリアⅥは3株・5本であった（図8）。大牧町水道みち緑道1株・1本、同大牧緑地西2株・4本である。

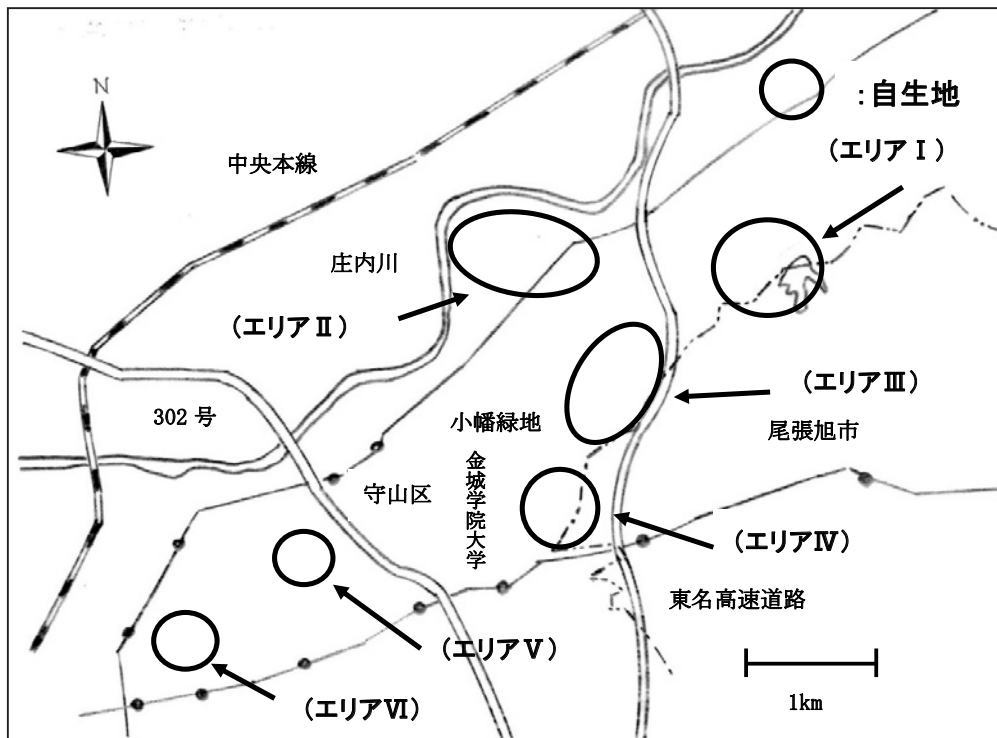


図1. 守山区周辺マメナシ分布図

石原（2016） 守山区周辺のマメナシ自生地分布

表1. 守山区周辺のマメナシ成木調査結果（小幡緑地本園を除く）

生育地			No.	樹形	樹高 (m)	幹周 (cm)	径 (cm)	多幹個別幹周 (cm)				
								1	2	3	4	5
エリアⅠ	下志段味長廻間	風越池	1	単	3.4	29	5					
			2	単	8	78	12					
			3	単	4	42	7					
			4	単	8	57	9					
			5	単	6	55	9					
			6	単	7	90	14					
			7	株	4	19	3	67	枯死	枯死		
			8	株	4	101	16	65	35			
			9	単	3	40	6					
エリアⅡ	吉根		10	単	7	88	14					
			11	双	7	44	7	34	29			
	平池東		12	株	3	39	6	20	19	16		
エリアⅢ	大森北	東尾張病院	13	株	11	180	29	78	77	68		
			14	双	9	130	21	65	44			
			15	単	12	83	13					
			16	双	12	220	35	112	95			
	大森北	志段味住宅	17	単	5	41	7					
	大森北	宗教法人施設前	18	単	6	32	5					
	大森北	シデコブシ湿地	19	双	4	20	3	18	11			
	大森北	蛭池北県有林	20	双	7	70	11	61	35			
			21	双	11	133	21	80	66			
			22	単	5	44	7					
			23	単	8	42	7					
			24	株	13	155	25	70	66	58	55	
エリアⅣ②	大森八龍	八竜新池	25	単	5.5	40	6					
			26	双	6	65	10	33	33			
			27	株	11	138	22	65	54	51		
			28	双	4	47	7	21	20			
			29	単	1.2	4.5	1					
			30	単	1.3	4	1					
			31	単	2.3	5	1					
			32	単	1.6	4	1					
			33	単	1.2	4	1					
			34	単	1.1	5	1					
			35	単	1.2	3	0.5					
			36	単	5.5	59	9					
			37	単	1.1	10	2					
			38	単	1.5	6	1					
			39	単	1.8	9	1					
			40	単	1.7	4	1					

生育地	No.	樹形	樹高 (m)	幹周 (cm)	径 (cm)	多幹個別幹周 (cm)				
						1	2	3	4	5
エリアⅣ② 大森八龍 八竜新池	41	単	1.5	4	1					
	42	単	1.8	5	1					
	43	株	3.1	25	4	14	11	10		
	44	株	9	167	27	86	73	枯死		
大森八龍 樋口の森	45	単	4	15	2					
エリアⅣ① 御膳洞 蛭池	46	双	6	105	17	51	枯死			
	47	双	2.5	73	12	33	30			
	48	単	6	50	8					
	49	株	7	90	14	60	50	40		
	50	単	5.5	44	7					
	51	双	7	115	29	55	50			
	52	単	8	90	14					
	53	双	5.2	110	18	48	47			
	54	株	7	158	25	60	35	19	19	19
	55	株	7	110	18	60	40	30		
	56	単	7	75	12					
	57	単	10	80	13					
	58	双	10	188	30	120	100			
	59	単	6	46	7					
	60	単	2.5	11	2					
	61	株	4.5	100	16	枯	枯	枯	12	10
	62	単	6	42	7					
	63	双	8	101	16	80	36			
	64	株	11	320	51	115	105	93	89	
	65	双	9	112	18	66	44			
	66	株	7.6	116	18	75	43	43	33	
	67	単	8	75	12					
	68	単	10	95	15					
	69	単	9.5	103	16					
	70	単	9	125	20					
	71	双	10	135	21	106	32			
	72	単	8.5	67	11					
	73	単	7.5	64	10					
	74	双	8.5	127	20	69	61			
	75	双	9	109	17	92	枯死			
	76	単	6.5	93	15					
	77	単	6.5	60	10					
	78	単	7	84	13					
	79	双	8.5	81	13	53	44			
	80	単	7.5	71	11					

石原（2016） 守山区周辺のマメナシ自生地分布

生育地	No.	樹形	樹高 (m)	幹周 (cm)	径 (cm)	多幹個別幹周 (cm)				
						1	2	3	4	5
エリアⅣ① 御膳洞 蛭池	81	単	6.1	52	8					
	82	双	6.1	89	14	49	枯死			
	83	双	7.6	90	14	67	63			
	84	双	7.6	81	13	53	43			
	85	単	5	45	7					
	86	双	7	120	19	60	39			
	87	単	5	28	4					
	88	株	6.5	85	14	40	38	31	23	
	89	株	8.5	155	25	82	75	57		
	90	株	7.5	94	15	62	38	36	25	
	91	双	4	80	13	43	枯死			
	92	双	7.5	80	13	61	17			
	93	単	6	90	14					
	94	株	6	89	14	29	24	23	19	
	95	株	6	65	10	47	34	25		
	96	双	6	65	10	38	31			
	97	双	10	134	21	79	69			
	98	双	9	184	29	98	64			
	99	双	8.5	125	20	86	52			
	100	単	6	39	6					
	101	単	4	32	5					
	102	単	6.5	51	8					
	103	単	3.5	45	7					
エリアⅣ② 大森 環境事業所前	104	単	7.5	69	11					
	105	単	3	20	3					
	個人宅（樋口）	106	双	4	102	16	58	52		
エリアⅤ 牛牧小幡緑地 西園，樹林地・駐車場南	107	単	4	42	7					
	108	単	12	74	11					
エリアⅥ 水道みち緑道 大牧町 大牧緑地西	109	単	8	64	10					
	110	株	8	168	27	115	43	18		
	111	単	8	130	21					
エリアⅢ 尾張旭市霞ヶ丘町北 小幡緑地東園 林ノ池	112	株	5.5	90	14	52	38	38		
	113	株	6.6	211	34	80	59	59	59	55
	114	単	4.5	48	8					
	115	単	3.5	41	7					
	116	株	3.5	60	10	36	25	18		
	117	双	1.8	24	4	14	9			
エリアⅠ 平子上池 平子町東 滝の水池	118	単	15	49	8					
	119	双	3.2	38	6	29	12			
	120	株	5.5	84	15	64	31	31		

生育地	No.	樹形	樹高 (m)	幹周 (cm)	径 (cm)	多幹個別幹周 (cm)				
						1	2	3	4	5
エリア I 平子町東 滝の水池	121	双	1.5	30	5	12	11			
	122	株	5	48	8	19	18	18	17	12
	123	単	5.5	18	3					
	124	双	5.5	77	12	31	20			
	125	双	5.5	40	6	18	17			
	126	双	5.5	77	12	35	17			
	127	双	5.2	37	6	15	13			
	128	単	5.2	23	4					
	129	単	5.3	29	5					
	130	単	1.9	7	1					
	131	株	4.1	38	6	26	18	7	6	
	132	双	4.5	62	10	28	28			
	133	単	1.8	23	4					
	134	単	3	13	2					
	135	単	1.5	23	4					

「樋口の森」とは、八竜緑地に隣接する2.3ヘクタールの市民緑地である。樋口さんという方から名古屋市に寄付されたことから「樋口の森」とした。

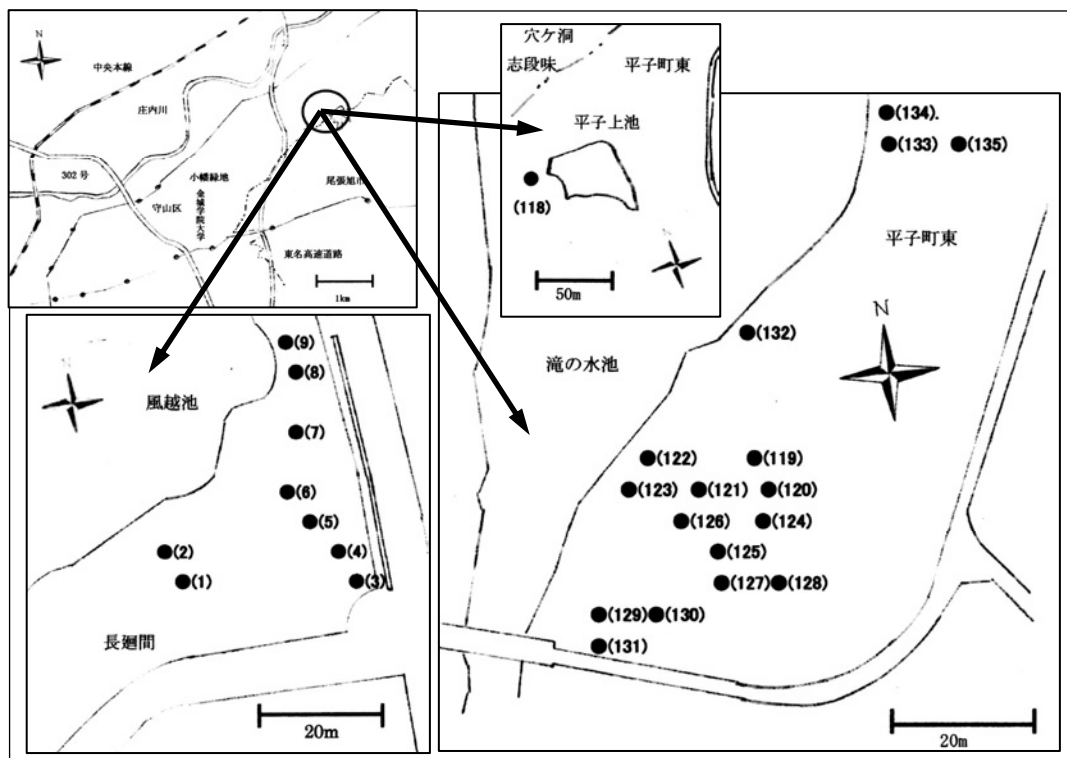


図2. エリア I

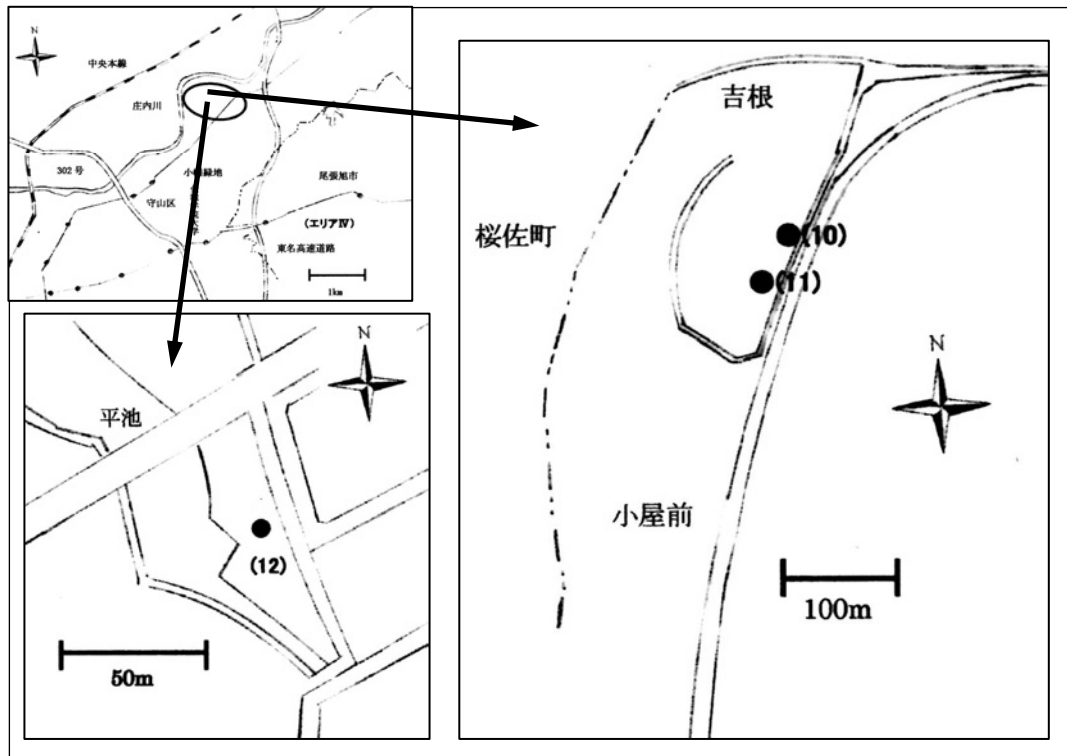


図3. エリアⅡ

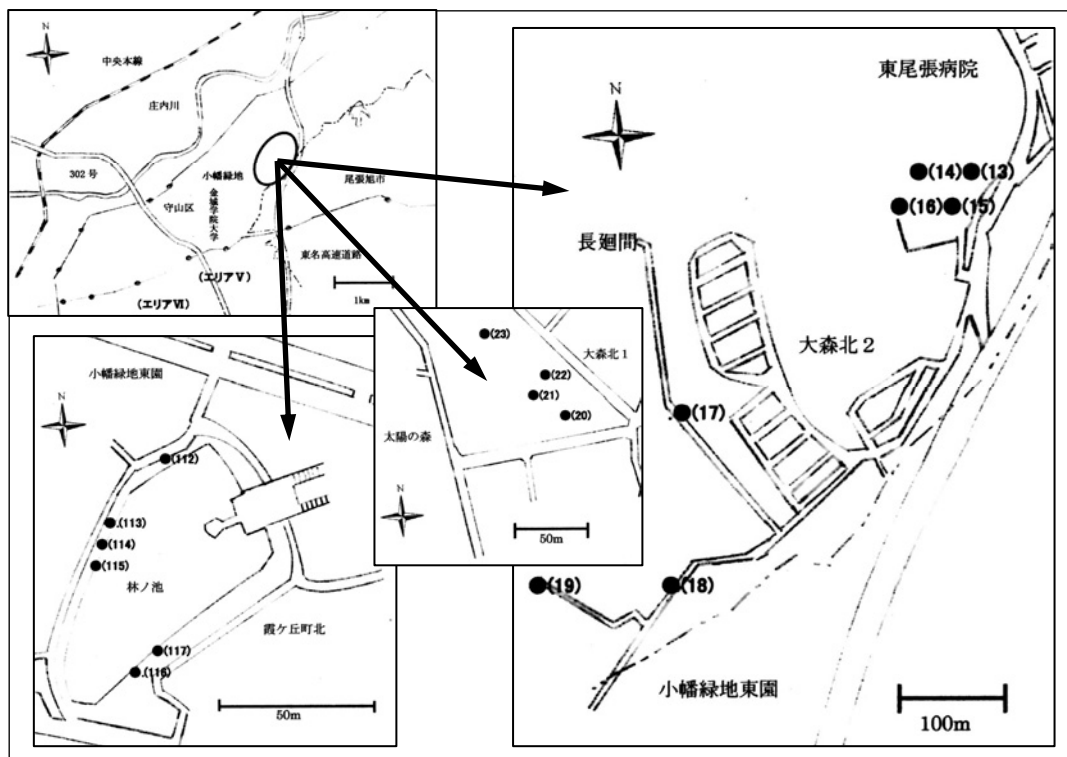


図4. エリアⅢ

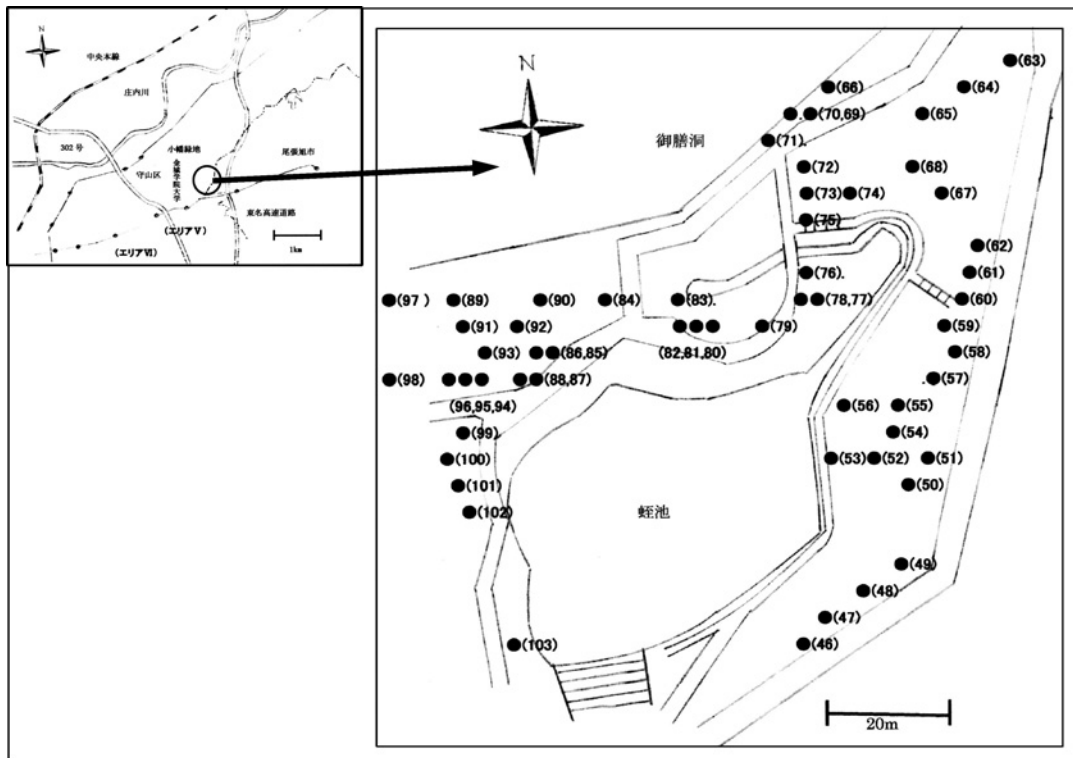


図5. エリアⅣ-①

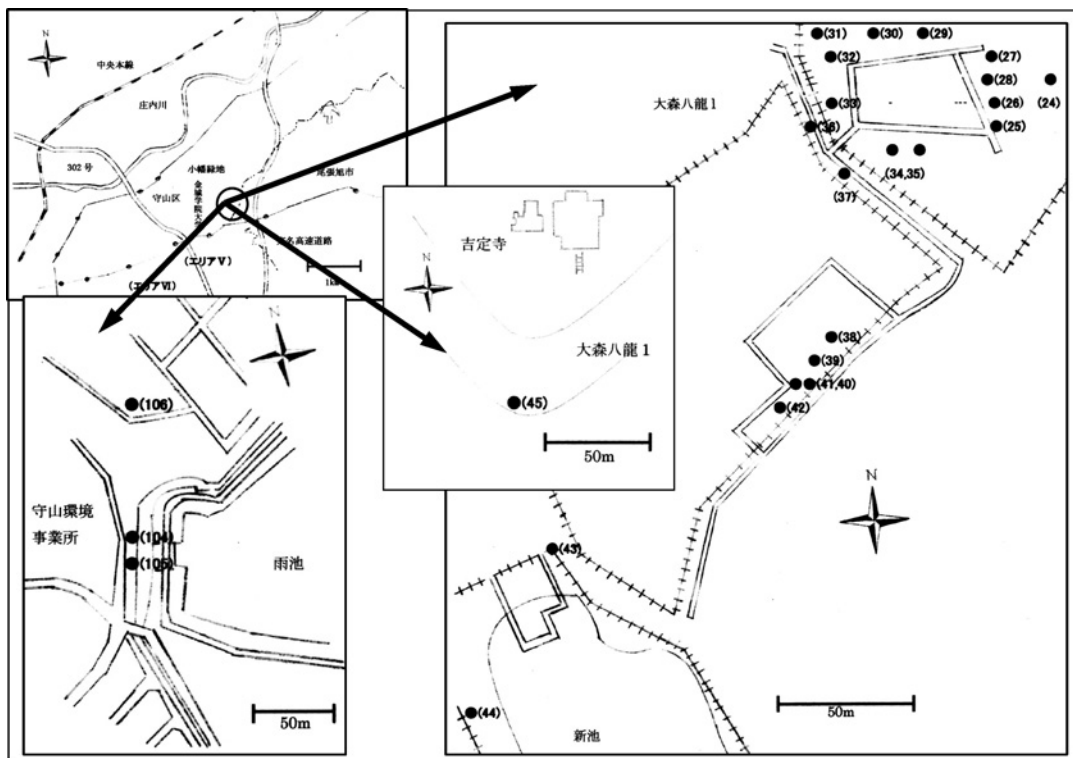


図6. エリアⅣ-②

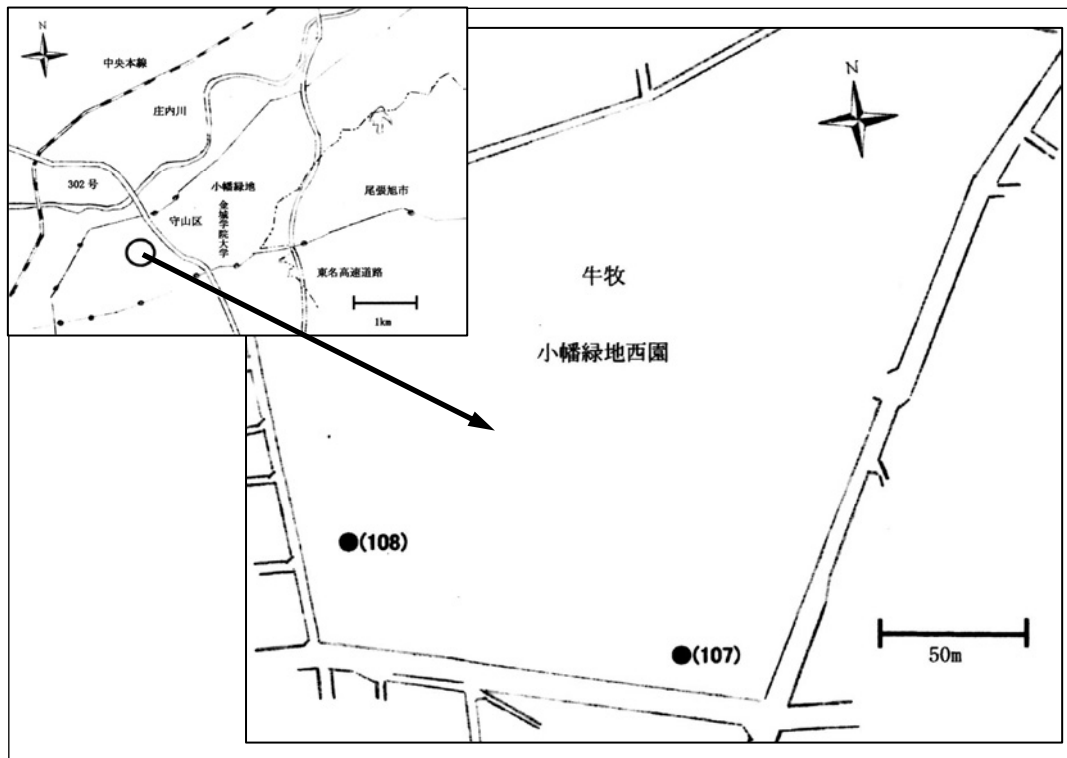


図7. エリアV

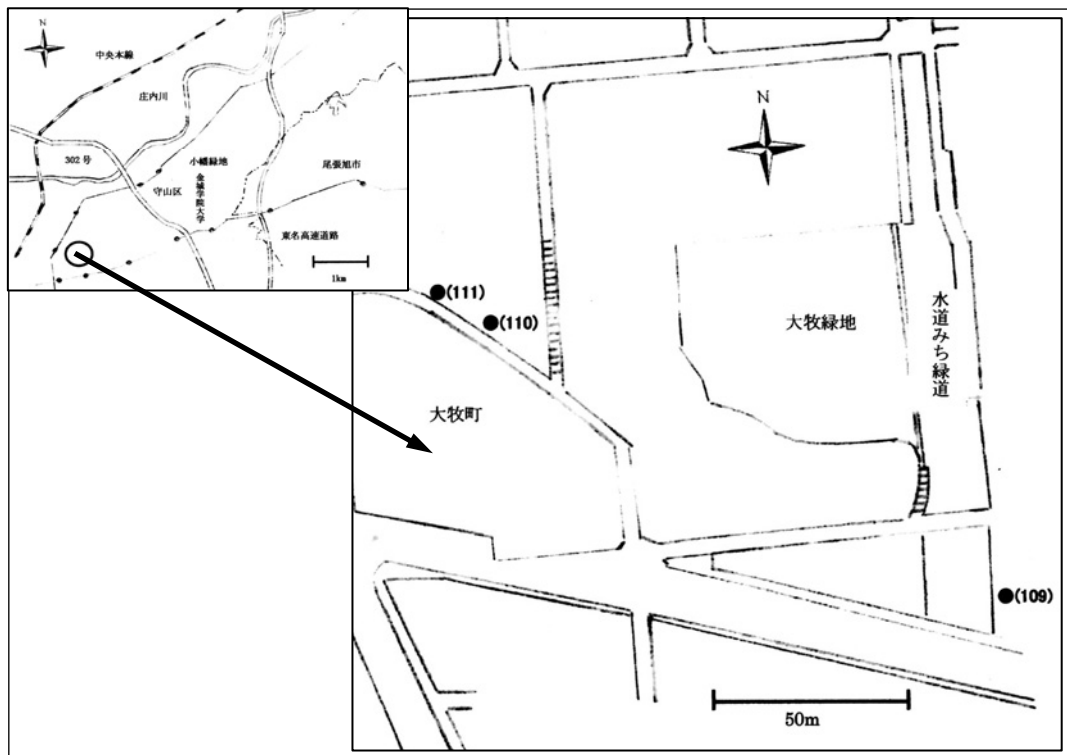


図8. エリアVI

花柱の数量調査（図9）は、小幡緑地を含め15株で行った（表2）。但し、花柱の数量調査について、すべてのエリアでの調査を試みたものの、エリアⅠ・Ⅱについては花つきが悪かったため除外した結果は1株の花柱の

数量4が1個を除いて、全て2～3個であった。

同様に、同じ個所で、果実の種子数の調査（図10）をした（表3）。但し、調査対象とした15株のうち結実の悪い7株については、マメナシ保護を優先して除外した。

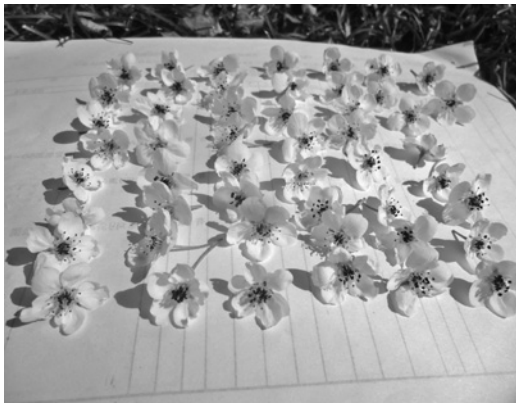


図9. 花柱の数量調査

表2. 守山区周辺のマメナシ花柱の数量調査結果

生育地	No.	花柱の数量（個）				
		1	2	3	4	5
エリアⅢ	東尾張病院	13	50			
	志段味住宅	17	50			
	小幡緑地東園 林ノ池	113	50			
	蛭池北県有林	22	49	1		
エリアⅣ①	蛭池	80	50			
	蛭池	103	35	15		
	環境事業所前	104	38	12		
エリアⅤ	小幡緑地西園	107	37	12	1	
エリアⅥ	水道みち緑道	109	27	23		
	大牧緑地西	111	47	3		
小幡緑地	スポーツセンター東	(1)	38	12		
	ゲートボール周辺	(4)	50			
	緑ヶ池 南池畔	(28)	33	17		
	西池畔	(32)	50			
	東池畔	(33)	48	2		

※小幡緑地の No. は、石原（2014）と同じ



図10. マメナシの果実の種子数調査

表3. 守山区周辺のマメナシ種子の数量調査結果

生育地	No.	種子の数量（個）				
		1	2	3	4	5
エリアⅢ	東尾張病院	13	50			
	志段味住宅	17	-	-	-	-
	小幡緑地東園 林ノ池	113	-	-	-	-
	蛭池北県有林	22	50			
エリアⅣ①	蛭池	80	50			
	蛭池	103	16	34		
	環境事業所前	104	-	-	-	-
エリアⅤ	小幡緑地西園	107	6	39	5	
エリアⅥ	水道みち緑道	109	-	-	-	-
	大牧緑地西	111	45	5		
小幡緑地	スポーツセンター東	(1)	14	36		
	ゲートボール周辺	(4)	-	-	-	-
	緑ヶ池 南池畔	(28)	5	45		
	西池畔	(32)	-	-	-	-
	東池畔	(33)	-	-	-	-

※小幡緑地の No. は、石原（2014）と同じ

調査を終えて

1) 下志段味長廻間の風越池・尾張旭市平子町東の平子上池・同滝の水池（エリアⅠ）

風越池は、当会の有志で年2回ほどマメナシ周辺の下草刈りをしている（図11）。池の東池畔の低湿地帯のササ原に9株生育している。周囲にコナラの大木があり、日照は極めて悪い。樹勢が弱く枯れ進む樹もある。実生はない。風越池には「風越池を美しくする会」があり、土手の清掃をしている。今後は、「風越池を美しくする会」と協働でマメナシの保全ができると良いと考えている。

平子上池池畔のマメナシは孤高の大木である。ササ原に囲まれているので年1回の調査の折に当会の有志が下草刈りをする程度である。樹勢は悪くはないが、後継樹は見当たらない。陽が当たるように周りの樹を間伐・下草刈りをこまめにすれば後継樹も夢ではない。

滝の水池の南池畔の入り江の右岸のササ原に17株生育している（図12）。2011年から当会の有志で年に2～3回ほどマメナシ周辺の下草刈りをしている。当初は、マメナシをノイバラが蔽う状況であったが、4年をかけて環境を整備してきた。結果、マメナシの樹が見渡せるようになった。幼木・実生がたくさん育っている。



図11. エリアⅠ・下志段味長廻間・風越池・保全作業



図12. エリアⅠ・平子町東・滝の水池・保全作業

2) 吉根・平池東（エリアⅡ）

吉根のマメナシは、庄内川河畔・民有地の敷地内の道路脇に2株並んでいる。道路の脇なので車の埃を被ることはあるが、陽はよくあたる。当会の有志で手入れができておらず実生は育っていない。

平池東の池畔に生育しているマメナシ1株は、周りの樹木に日差しが遮られている。マメナシが良好に生育する環境を保つために、当会の有志で周りの樹木を間伐し、陽をあてる必要がある。



図13. エリアⅢ・大森北・東尾張病院・マメナシの花

3) 大森北東尾張病院・同志段味住宅・同宗教法人施設前・同シデコブ湿地・同県有林・尾張旭市霞ヶ丘町北小幡緑地東園林ノ池（エリアⅢ）

東尾張病院にはマメナシが4株生育している（図13）。周りに他の樹木もなく日差しが良く当たり、花もよく咲き、実も大きい。林床はジャノヒゲが生い茂り、実生はない。

志段味住宅にあるマメナシ1株はシダレザクラのよう

に枝は横に開出し、小枝は下垂する。県有地の正面脇にあり、マメナシよりも背が高い樹木が蔽いかぶさっているので、陽があたるように当会の有志で間伐をする必要がある。実生は育っていない。

宗教法人施設前のマメナシ1株は、周りの樹が蔽いかぶさっているので、当会の有志で陽があたるよう周りの

樹を間伐をする必要がある。実生は育っていない。

シデコブシ湿地は、樹林地に1株だけある。コナラの樹林地であり、ササが繁茂し、陽当たりも悪い。当会の有志で周りの樹を間伐し、陽をあてる必要がある。林床には実生は育っていない。

県有林には4株生育している（図14）。1株を除いて元気がない。4株はササ原に生育しているが、そのうちの1株は、樹林地内にあり、陽当たりが悪く、枯死寸前である。幼木・実生は見当たらない。当会の有志による下草刈りが急務である。

霞ヶ丘町北小幡緑地東園・林ノ池の土手には6株生育している。グランド側に4株・対岸に2株確認している。グランド側のマメナシは、コナラなどの大木の陰になる樹もあるが、樹勢は衰えてはいない。池畔の土手のササ原に生育している。実生はない。当会の有志でササ原を刈ることが急務である。対岸の池畔の2株は、マメナシの花が咲いている時でないと見つけにくい。マメナシを他の樹が蔽っているので陽当たりが悪い。実生はない。陽当りを良くするために、当会の有志での周りの樹の間伐が急務である。



図14. エリアⅢ・大森北・県有林・マメナシの花



図15. エリアⅣ－①・御膳洞蛭池・マメナシの花

4) 御膳洞蛭池・大森八龍新池・守山環境事業所前・樋口宅（エリアⅣ①②）

御膳洞蛭池には58株（植栽を除く）のマメナシが生育している（図15）。株数では日本一である。しかし、誰も手をいれていないので下草も伸び放題である。コナラなどが生い茂り、陽が当たらないマメナシも見受けられる。幼木も実生も見当たらない。コナラを間伐して陽を当てる必要がある。種子は多数みられるが実生や幼木は皆無である。実生がないのは、過剰な下草刈り・1991年の暮れから行った護岸整備によって水位が下がったことによるかも知れない。いずれにしても公園であるが日本一のマメナシ林なので知恵を出し合ってこの状況を打開したい。行政の力を借り、地元で、なんとかしてマメナシを保護する方向で会を立ち上げたいと動き始めた。

大森八龍新池周辺には、マメナシが22株生育している。大半のマメナシは、柵内にあり、「水源の森と八竜湿地を守る会」が管理をしている。木道があるので踏み荒らすこともなく、陽当たりもよく、幼木・実生が沢山育っている。柵外のマメナシも「水源の森と八竜湿地の会」

が手入れをしている。こちらは、幼木・実生は育っていない。

守山環境事業所前には2株のマメナシが生育している。周りに高い樹があり、陽当たりが悪いので大きくなれない。幼木・実生は育っていない。樋口宅に1株生育している。陽当りは良いが、花の咲きは悪い。幼木・実生は育っていない。

5) 牛牧小幡緑地西園樹林地・駐車場南（エリアⅤ）

小幡緑地西園の樹林地の中にマメナシが1株生育している。周りに常緑樹の高木があり、陽当りは良くない。光を求めて高くはなったが幹は太くない。幼木・実生はない。

駐車場南にマメナシが1株生育している（図16）。コナラが隣接しており、陽当りは良くない。小幡緑地管理事務所がコナラを間伐してマメナシに陽が当たるようにしている。樹勢は悪くはない。2015年の春は花が良く咲い



図16. エリアV・牛牧・小幡緑地西園駐車場南・マメナシの花



図17. エリアVI・大牧町・大牧緑地西・マメナシの花

た。しかし、幼木・実生はない。

6) 大牧町水道みち緑道・同大牧緑地西（エリアVI）

水道みち緑道には、マメナシが1株生育している。隣にコナラの大木があり陽当りは良くないが、樹勢は悪くはない。2015年の春は花が良く咲いた。しかし、実生はない。

大牧町大牧緑地西には、マメナシが2株生育している（図17）。市の公園であり、陽当りもよく、整備もされている。樹勢も悪くない。2015年の春は花が良く咲いた。しかし実生は見当たらない。実生が育ったとしても過剰に下草刈りを行う結果、刈り取られてしまうことがある。次世代の樹を育てるためには、行政と打ち合わせをし、事前点検で実生にマーキングをし、業者の作業に立ち会いをすれば、少しは実生の刈り取りは防げるかもしれない。行政と当会との真摯な打ち合わせが必要である。

7) 花柱の数量調査と果実の種子数の比較

今回の調査（表2、3）により、マメナシの花柱が2～3個であることから（芹沢，2003），すべてマメナシであることがいえる。花柱数調査と種子数調査を比較すると，No.103，No.107，No.(1)，No.(28) では花柱数が2個が多いにも関わらず，種子数では3個が多くなっていたが，この原因が何によるものかはわからない。今年だけのことか，継続することでわかるようになるかもしれない。継続して調査を行いたい。

また15株のうちNo.7，No.113，No.104，No.109，No.(4)，No.(32)，No.(33) の7株で実が少なかった。原因としては，自家不和合性（向井，2010）のため，花粉の授受が悪かったのか2015年6月は高温でその後雨が多かったことにより昆虫の発生が少なかったことによるかもしれない。

参考

調査をはじめた2011年から2014年の間に自生地のマメナシの樹が切られたり枯死をした事実を記録に留める（図18）。

東尾張病院には，1本双幹の樹があったが，電線に触れるということで切られてしまったことを2013年2月14日に確認した。

シデコブシ湿地は，県有林にシデコブシがあることから当会で命名した。ササ原に何株かのマメナシがあったが，2011年にナラ枯れ伐採時に誤って2株伐採・枯死2株，2013年11月14日に枯死1株，2014年に枯死1株，合計6株の枯死や伐採を確認している。

県有林は2013年11月14日に枯死を1株確認している。

小幡緑地東園入口にはマメナシが2株あったが，2011年2株とも誤伐された。その後，ヒコ生えがでてその後の生長が期待されたが，ヒコ生えも伐採されてしまったことを2014年2月20日に確認した（図19）。

尾張旭市平子にある菊華高校のグラウンドの駐車場にマメナシが1本あった。もともとは樹林地であったが駐車場にすることで2011年1月切られてしまったことを当会の会員が確認。その後，菊華高校の善意で伐根移植をし，萌芽・ヒコ生えがでていたのを2012年9月7日に確認（図20）し，生長を期待されたが，2013年6月に枯死を確認した。

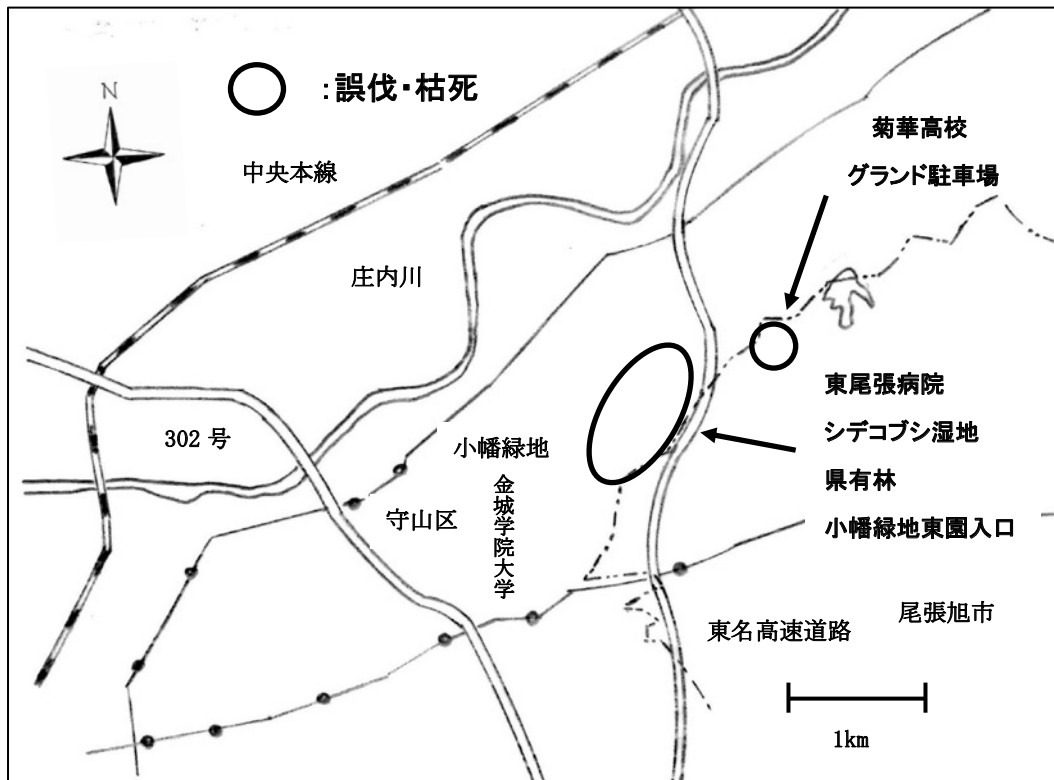


図18. 守山区周辺マメナシの誤伐・枯死の分布図



図19. 小幡緑地東園入口の伐採されたマメナシ



図20. 菊華高校グランド駐車場・伐根移植したマメナシ

この4年間だけでも、誤伐・枯死など10株を越えるマメナシがなくなっている。これ以上減らさないためには、個体識別ができる樹名板を設置するなど行政との協働が望まれる。

さいごに

守山区周辺のマメナシを“郷土の宝”として次の世代に残していくことが、私たち保全をするものの使命であ

る。今後は行政も含めて、みんなで手を取り合って、マメナシなど希少種を守るための仕組みを考えていきたい。

謝辞

本稿をまとめることができたのは、マメナシを保護したいという愛知守山自然の会有志の弛まぬ努力の結果であり、当会の丹下正良氏および鹿住坦氏・古川則夫氏を始め、新井恒雄氏らの長年に渡るマメナシの積み重ねの

引用文献

実績があったからできたことである。マメナシが縁で繋がりが、保全・調査を通じて支えていただいた方がいたからこそここまですることができた。これも偏に、当会の有志の皆さん・小幡緑地管理事務所・守山土木事務所・守山自然ふれあいスクール実行委員会の皆さん・家族などのお蔭である。深く感謝する。

大森八龍の柵内のマメナシ調査では、「水源の森と八竜湿地を守る会」の飯野道彦氏に立ち会っていただきました。

また、本稿を発表する機会を与えていただいた「なごや生物多様性保全活動協議会」の皆さん、また、書き方の助言をしていただいた「なごや生物多様センター」の職員の皆さんにお礼を申し上げる。

- 石原則義. 2014. 小幡緑地本園のマメナシ自生地の保全と保護の現状. なごやの生物多様性, 1: 49-58.
- 向井譲. 2010. 周伊勢湾地域におけるイヌナシの遺伝的考察, pp.26-27. 桑名市教育委員会, 三重.
- 名古屋市. 2015. 名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックなごや2015—植物編—. 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課, 名古屋. 385pp.
- 芹沢俊介. 2003. マメナシ, 矢原徹一（監修）, レッドデータプランツ, pp.279. 山と溪谷社, 東京.
- 植田邦彦. 1989. 東海丘陵要素の植物地理：I. 定義. 植物分類・地理, 40: 190-202.

